

特産品である木工小物のチャレンジショップを設置

大川商工会議所

機関名	大川商工会議所		
所在地	福岡県大川市大字酒見 2 2 1 - 6		
電話番号	0 9 4 4 - 8 6 - 2 1 7 1		
地域概要	(1)管内人口 40 千人	(2)管内商店街数 2 商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 72 商店	
	(3)空店舗率 15%	(4)大型店空き店舗数 0	
	大川中央商店街振興組合		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 16 年度 活性化対策事業

総事業費

・木工小物のチャレンジショップの設置・運営

・イベント等の実施

5,040 千円

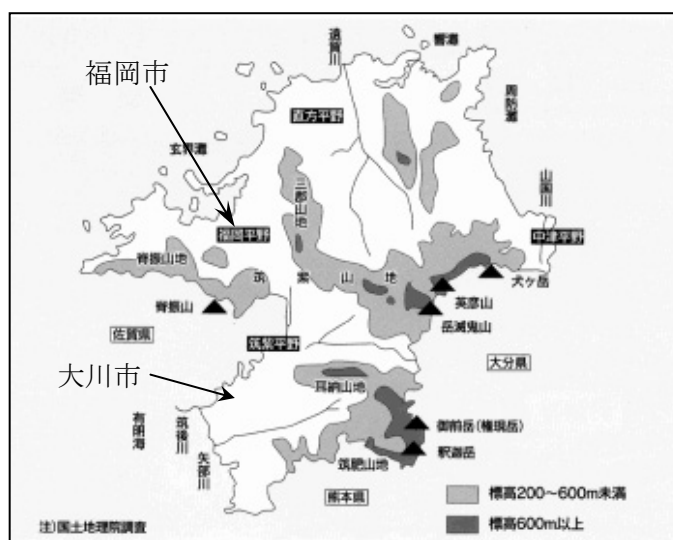
【事業実施内容】

1. 背景

大川市は福岡県南部に位置し、木工業を中心に発展した家具の街である。市の西部を筑後川が北東から南西へ流れ、筑後川を挟んで佐賀県と接している。4 万人都市でありながら木工関連産業や商業施設が多数集積しており、独立した経済圏を形成している。市域全体が筑後平野の一角をなしており、地形は平坦である。

大川市の中心商店街は自然発生的にできた総延長 800m の L 字型商店街で、最寄り品および買回り品が混在する地域型商店街である。

近年の長引く景気低迷と相次ぐ大型店の進出、経営者の高齢化、後継者不足により事業廃止に追い込まれるなど、ますます空き店舗が増加し、商業機能の空洞化が深刻化している。こうした現状を打開するため、商店街の空き店舗対策に取り組むこととなり、以下の事業を実施した。



大川市の位置図（福岡県のHPより）

2. 事業内容

事業内容としては、大川中央商店街振興組合の空き店舗を活用し、同市の特産である木工品を中心としたチャレンジショップ「手作り工房 遊木館」を設置し、新規開業者の発掘・育成と中心市街地の魅力向上を図る。

(1) チャレンジショップ事業

大川の特産品でありながら販売ルート、販売機会に乏しい木工インテリア小物の紹介を行うため、業種を限定したチャレンジショップ事業を行った。

①募集概要

- ・ 出店場所：福岡県大川市大字榎津 315
- ・ 事業期間：平成 16 年 7 月 1 日～
平成 17 年 3 月 31 日
- ・ 店舗面積：1 階 76 m²、2 階 50 m²（作業場・倉庫）
- ・ 募集区画：5 区画（1 区画 15 m²）
- ・ 募集対象：経営意欲にあふれ、将来商店街に店舗を持ちたいと思っている方



「遊木館」外観

②出店条件

- ・ 対象業種：大川の特産品（インテリア小物、工芸品等）製造販売
- ・ 出店料：1 区画 2,000 円／月
- ・ 共益費：水道光熱費・衛生費・保険料等は出店者負担
- ・ 営業時間：出店者と協議の上、決定
- ・ 定休日：出店者と協議の上、決定



「遊木館」の店舗内

③出店申し込み

- ・ 募集期間：平成 16 年度 7 月 1 日～7 月 15 日
- ・ 申込方法：出店申込書、出店計画書を提出

④審査・審査基準

- ・ 審査：大川商工会議所商店街等活性化事業委員会にて審査
- ・ 審査基準：出店のための資金準備、継続営業の可能性及び身元保証人の有無等

⑤募集広告

- ・ チラシ折込：大川市報（7 月 1 日号 12,630 部）
大川商工会議所会報（7 月 2 日 2,100 部）
- ・ 新聞記事：有明新聞（7 月 1 日）
西日本新聞（7 月 8 日）
- ・ その他：商工会議所ホームページへ掲載

⑥申込・審査結果

電話相談・直接来所により 12 件の問合せがあったが、対象業種等の説明の結果 3 事業者が該当し、申込書を受け付けた。平成 16 年 7 月 16 日に委員会を開催し、出

店申込のあった3事業者について審査し、入居者として決定した。

⑦入居・オープン

8月12日に商店街の夏祭りと合わせて施設をオープンした。出店者3名とも大川の特産品である木工インテリア小物・工芸品等を取り扱っており、施設としてのコンセプトを明確に打ち出すため、店舗の区画は区切らず一体的に運営した。

⑧入居者勉強会

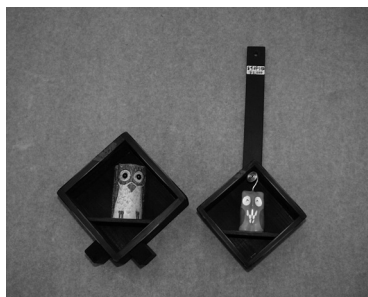
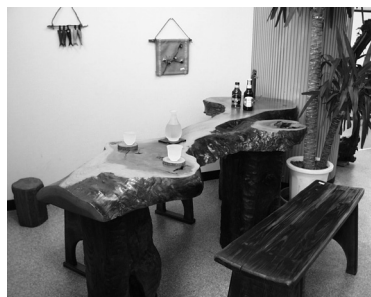
入居者の資質向上を図るため、中小企業基盤整備機構の中心市街地活性化タウンマネージャー派遣制度を活用し、勉強会を実施した。



入居者勉強会の様子

< 勉強会の開催状況 >

	開催日	テーマ
第1回	7月20日(火)	出店手続きと店舗管理運営の取決めについて
第2回	7月23日(金)	開業準備と商店経営の基本について
第3回	7月27日(火)	開業計画の立て方について-1
第4回	7月30日(金)	開業計画の立て方について-2
第5回	8月6日(金)	オープン販促と表品、搬入・陳列について
第6回	8月20日(金)	オープン後の経過と販売促進策など
第7回	8月27日(金)	マーケティングの基礎
第8回	9月10日(金)	商品ディスプレイの仕方
第9回	9月17日(金)	顧客管理と情報化について
第10回	9月24日(金)	事業計画書の作成・検討



「遊木館」取扱商品

(2) イベント事業

① オープニングイベント

平成16年8月12日に商店街夏まつりに合わせ、チャレンジショップをオープンした。事業の成功と夏まつりの盛会を期して、店先で風浪勝運太鼓を披露した。



オープニングイベントの様子

② 小物づくり体験教室

常時イベントとして、参加無料の「小物づくり体験教室」を開催した。準備した教材は5種類で、簡単に製作できるよう各パーツは半完成品のキットとした。夏休みの間は特別に「親子教室」と銘打って開催し、毎日多くの参加者が訪れた。

・教材：イルカ、ティッシュケース、
小物入れ、状差し、椅子

・参加者数：大人18人（市内11人・市外7人）
子ども213人（市内143人・市外70人）



小物づくり体験教室の様子

③ イルミネーション点灯事業

大川中央商店街振興組合主催の年末年始恒例イルミネーション点灯事業に参加した。「遊木館」らしく風倒木（桜の木など）に電飾を飾り付け、店先にて毎日夜12時まで点灯し、大勢の見物客を魅了した。



イルミネーション点灯の様子

遊木館

チャレンジショップ 手づくり工房

可愛い小物から 重量感のあるものまで

木のやさしさが いっぱい

※商店街の空き店舗がチャレンジショップ「手づくり工房 遊木館」として生まれ変わりました。

8月12日(木) 夜7時オープン

同時オープンの商店街の夏まつり

小物づくり体験コーナー

9月から毎週日曜実施 1回あたり10名程度

◆午前の部 10:00～
◆午後の部 14:00～

予約が必要です。(8月12日より受付開始)

商工会議所又は、遊木館に備え付けの申込書にて商工会議所指導課へお申込み下さい。

都合によりご希望の日程に添えかねる場合があります。予めご了承ください。

夏休み企画 小学生を対象に8月17日(火)より8月31日(火)まで工作教室として毎日行なっています。

詳しくは、商工会議所指導課へお尋ね下さい。

お問合せ先 大川商工会議所 指導課 受付時間/9:00～17:00

URL: <http://www.joho-fukuoka.or.jp/kigyo/okawa> TEL/0944-86-2171 FAX/0944-88-1144

オープニングチラシ

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

一般の家具店では取り扱っていない手作りの木工工芸品専門のチャレンジショップを設置したことにより、各種マスコミから大きく取り上げられ、商店街の認知度が向上した。

2. 来街者の行動

小物づくり体験教室を実施したことにより、市内外から大勢の参加者が来訪し、ショップ店先において賑わいを見せた。店頭にて商品製造の実演を行う出店者もあり、車の往来や通行人の目を引き、客寄せの効果があつた。

3. 特産品の紹介

風倒木や家具メーカーから出た端材、酒樽や古い木造船を利用して作った、椅子やテーブル・飾り棚・花台・置物・壁掛けなど希少価値が高い商品が多いため、佐賀・久留米・大牟田・八女など県外や市外から注目を浴び、好評だった。平成 17 年度も出店者 1 名がそのまま継続して同じ施設で販売を行っており、大川の特産品を扱う場として定着化している。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

大川市は「インテリア（家具）のまち」としては有名であるが、手づくりの木製工芸品があることはあまり知られていない。今回のチャレンジショップ事業はその事実を大きくアピールする意義も含まれ、実験的店舗としての意味合いも強いことから、補助事業としての事業費確保は必要である。

【 関 連 U R L 】

大川商工会議所 <http://www.joho-fukuoka.or.jp/kigyo/okawa/>